

日本国憲法	2年 後期	講義2単位	担当教員名	井 坂 亨
	卒必 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 国民生活と日本国憲法との関係について理解する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や国政に生きる憲法の存在意義を理解し、大学生としての社会的資質を高める。 国家の概念、領土、国権及び主権、国家の形体など憲法に関わる用語を理解する。 憲法という概念の発生過程と近代憲法の原則、日本国憲法制定までの歴史と基本理念を理解する。 日本国憲法と保育との関わりや国民生活との関係などについて理解を深める。 				
授業の概要 授業全般を通し、日常生活で、ともすれば疎遠になりがちな憲法について、身のまわりの事例をとりあげながら、憲法が日々の生活に深く関わっていることを再認識させ、憲法についての関心や態度を深めていきたい。憲法の基本的な用語と概念を理解させるとともに、日本国憲法の三大原則や三権分立等について、新聞等の記事や条文に照らし合わせながら理解させる。変化する世界の状況を踏まえながら、様々な憲法解釈にふれ、日本国憲法の今後についての論議に関心を深める。また、保育と日本国憲法がどのように関わっているのかを考察する。				

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	イントロダクション	憲法に関する基本的知識と生活の中に生きる憲法について
2	保育と憲法の関わり	保育実践は憲法実践だった（熱田福祉会けやきの木保育園園長）
3	近代憲法の原則	権力の分立 大日本国憲法との比較
4	日本国憲法の成立と考え方	日本国憲法制定の経過と日本国憲法の基本原理
5	日本国憲法の概観	前文と基本理念 平和主義 国民主権 基本的人権の尊重
6		第1章 象徴天皇制 天皇の国事行為等
7		第2章 戦争放棄（第9条の解釈） 平和主義について
8		第3章 国民の権利及び義務 基本的人権の保障 最高法規
9		第3章 国民の権利及び義務 基本的人権の体系 日本国民の義務の体
10		子どもの人権（児童福祉法、児童の権利に関する条約、児童憲章）
11		子どもの人権（児童福祉法、児童の権利に関する条約、児童憲章）
12		第4章 国会（立法権） 国会の地位と性格、仕事、衆議院解散権等
13		第5章 内閣（行政権） 内閣の地位と性格、仕事、議員内閣制等
14		第6章 司法（司法権） 裁判所の種類、役割、三審制、三権分立等
15	憲法と国民の生活	憲法の今後 講義の総括 保育と憲法とのかかわり
定期試験	15コマ終了後に実施する。	
テキスト	日本国憲法（小学館）	
参考図書	日本国憲法を口語訳してみたら 塚田 薫 長峯 信彦（幻冬舎）	
教員の 評価方法	授業態度（20%）、レポート・提出物状況（20%）、定期試験（60%）の総合で評価	
準備学習等 履修上の留意点	予習課題の提示 憲法関連新聞記事の収集（1時間）	

英語	1年 前期 後期	演習2単位	担当教員名	秋 山 尚 義
	卒必 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 身近な英語や古典を学び、言語や文化に対する理解を深め、英語の魅力を発見する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校時代に培ってきた英語力を活用し、英文読み取りの面白さを味わう。 ・ 多文化世界への興味・関心を深め、言語や文化等について考える。 ・ 日本の昔話や英語の歌を学び、英語への興味・関心を高める。 				
授業の概要 ・「言語」「文化」「旅行」「グローバル問題」のテーマを取り上げ、グローバル時代における「世界市民」の意味を考えさせる。 また、日本の昔話を英語で読むことで、英語への興味・関心を高める。 ・音読や英語の歌で英語のリズム、発音、表現を体感し英語の魅力を発見する。 ・チーム活動を通して自ら考え発表する力などコミュニケーション能力を養う。				

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	・オリエンテーション	演習の目標・評価等 英語の基本語順は身につけていますか。
2	・Olympic Spirit!	私たちにとってオリンピックはどんな意味があるのかを考える。
3		内容の理解確認と定着 ～True or False Summary
4		※基本語順の習熟と英文解釈方法に重点をおく。
5		(英語の歌)
6	・Is this seat taken?	言語学習に不可欠な実践法について考える。
7		内容の理解確認と定着 ～True or False Summary
8		(英語の歌)
9		※基本語順の習熟と英文相互の理解に重点をおく。
10		
11	・Why the Red Elf Cried	日本の昔話①を英語を通して味わう。
12		「赤鬼はなぜ泣くことになったのか」を読み取り考えをまとめる。
13		※チーム活動主体の演習(1)
14		※レポート作成の課題(1)
15	(英語の歌)	
16	・World Citizenship	世界市民として地球上で共生していく方法とは。
17		内容の理解確認と定着 ～True or False Summary
18		(英語の歌)
19		
20		
21	・Sandal Seller	日本の昔話②の魅力を英語を通して味わう。
22		「わらじ売りに魔法の炭を与えたのはなぜなのか」を読み取り考えをまとめる。
23		※チーム活動主体の演習(2)
24		※レポート作成の課題(2)
25		(英語の歌)
26		
27	・A Crowded Planet!	人口問題がもたらす問題とその解決策をさぐる。
28		内容の理解確認と定着 ～True or False Summary
29		(英語の歌)
30		
定期試験	定期試験は実施しない。各単元終了後に理解度確認チェックを実施する。	
テキスト	Off to the World (金星堂)	
参考図書	えいごで読む日本むかし話 2 (チャールズ・イー・タトル出版)	
教員の 評価方法	授業態度(10%)、発表・レポート(10%)、理解確認チェック(80%)の総合で評価	
準備学習等 履修上の留意点	予習(1時間、語句の意味調べや課題解決)は不可欠、英和辞典は必携	

保健体育	1年	前期	後期	実技1単位	担当教員名	齋藤寧
	卒必	幼必	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 運動することの壮快感を味わい、日常化の大切さを理解すると共に生涯体育について考える ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・運動への積極的な取り組みやグループ活動を通して、運動への関心を高めると共に社会性を養う ・幼児教育の理解を深める補助的な役目を果たす 						
授業の概要 保育科で学ぶ学生にとっては社会に出る前に経験する学校体育の最後の機会である。運動に積極的に取り組み、運動の楽しさを味わい、運動が心身に与える働きの大切さを再確認する機会としたい。また、グループ活動やリーダーとしての体験を通して、保育士として活動する場合の心構え等について考えさせる。						

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	オリエンテーション	目標 実施種目 評価方法等 集団行動 補強運動等
2	集団行動 ラジオ体操	集団行動、体力づくり(補強運動・幼児体育 等)
3	体力づくり	ラジオ体操第一、補強運動等 (いろいろな動きから)
4	リズムダンス	リズムダンス (ステップ、「おにのパンツ」 等)
5	バレーボール	班編成
6		基本技能 (パス、レシーブ、サーブ、スパイク 等)
7		ルールを工夫しての簡易ゲーム
8		
9		
10		
11	テニス、バドミントン (卓球)	班編成
12		基本技能 (フォア、バック、サーブ 等)
13		ルールを工夫しての簡易ゲーム
14		
15		
16	バスケットボール	班編成
17		基本技能 (ドリブル、パス、シュート、攻防 等)
18		ルールを工夫しての簡易ゲーム
19		
20		
21	フットサル	基本技能 (パス、ドリブル、シュート 等)
22		ルールを工夫しての簡易ゲーム
定期試験	なし	
テキスト	なし	
参考図書	「幼児のためのコーディネーション運動」 (明治図書)、「幼児体育指導教範」 (社・人 幼少年体育振興協会)	
教員の評価方法	実技発表 (70%)、学習意欲・態度 (30%)を総合して評価	
準備学習等履修上の留意点	日々の健康管理にも注意しできる限り体を動かすなど実技の準備をする。また実技後の振り返り (反省) を生かし次回に備える。(1時間)	

保健体育	1年	前期	後期	講義1単位	担当教員名	齋藤寧
	卒必	幼必	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 健康の維持増進が健康的な生活習慣の確立にかかっていることを理解する。 ② 目標 健康と食事・睡眠・運動の関連について学び、自分の生活に生かそうとする。						
授業の概要 生活習慣病や心の病気にかかっている人が急激に増加している現代である。健康を維持するのが難しい過酷な環境であるといわれているが、そんな中で健康を維持増進するにはいかに健康的な生活習慣を確立するかにかかっている。健康の基本を「食事・睡眠・運動」に焦点を当てて学び、また喫煙や笑顔と健康の関連についても着目させ、さらに体のしくみや応急手当についての基本を含め毎日繰り返されている生活習慣を見直し前向きに取り組もうとする意識を高めたい。						

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	オリエンテーション 健康とは	講義の目標・評価について 健康の定義
2	健康と運動	ルーの法則、ラジオ体操の効果、体力について
3	健康と睡眠・食	睡眠負債の状況把握、睡眠の必要性、睡眠の質
4		食の安全、栄養バランスのとれた食事
5	健康と喫煙・笑顔、体のしくみ	健康と喫煙・笑顔との関係（快食・快眠・快便）
6		骨格、筋肉、循環器、内臓、神経 等
7	応急処置（手当て）	骨折、ねん挫、やけど、止血法、傷病者の管理等
8	・子どもの安全 ・健康維持	子どもの事故予防等、健康維持増進のための留意点
定期試験	なし	
テキスト	なし	
参考図書	家庭の医学（小学館）	
教員の 評価方法	課題・レポート内容・小テスト等（70%）・学習態度（30%）を総合して評価	
準備学習等 履修上の留意点	日々の「食事・睡眠・運動」等を意識し各テーマについて備える。講義後は内容を踏まえ自分自身の生活を振り返る。（1時間）	

国語学	1年 前期	講義2単位	担当教員名	大平 雅弘
	卒必 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : われわれの身近にある国語について、組織だった知識を得る。 ② 目標 ・国語の構造を四つの部門(音韻・語彙・文法・文字)に分けて考える。 ・国語の基本的事項を再認識することで国語学のアウトラインを修得し、日本語の持つ歴史的重みを理解する。				
授業の概要 人間はことばを遣う生き物であり、ことばはそれを遣う国民の文化でもある。ことば無しには、意思の疎通も、個人や集団の思考も創造も成立しがたい。従って、言語能力の習得・向上には、基礎となる言語に対する基本的な知識が不可欠であり、長い時間と知的能力とが求められる。情報化社会といわれる時代において、言葉をいかに有効適切に遣うか、今日ほど真剣に考えられていることはない。ことばそのものや国語に対する関心を喚起し、豊かな言語感覚を磨き、生涯にわたって日本語に対して自ら学ぶ姿勢を涵養していく。				

授業計画

コマ(回)	項目	内容
1	国語学とは	イントロダクション (目的・方法・評価)
2	総論	言葉 国語と日本語 母語 国語の構造
3	音声・音韻 ①	音声の最小単位(音節と単音) 五十音図(日本語の音節一覧表)
4	音声・音韻 ②	音声記号 日本語の音節 アクセント イントネーション
5	文字・表記 ①	文字とその使い方 漢字のはなし(漢字の構成 呉音・漢音・唐音)
6	文字・表記 ②	漢字から仮名へ ローマ字の伝来と綴り方の種類
7	文字・表記 ③	補助符号 仮名遣いの種類・送り仮名
8	意味・語彙 ①	意味・単語・語義(同音異義語 接尾語 擬態・擬音語)
9	意味・語彙 ②	語彙の諸相・語彙の量 語形 敬語法(丁寧語・尊敬語・謙譲語)
10	意味・語彙 ③	語彙の量 敬語法(丁寧語・尊敬語・謙譲語)
11	意味・語彙 ④	語種 外来語 位相
12	文法・文章 ①	文法と文法論 文法研究の単位 構文論
13	文法・文章 ②	文章論 文章の展開と構造
14	文法・文章 ③	文体と文体論 文体の種類と文体史
15	方言・言語生活	方言と方言研究 方言区画 日本語の系統 言語生活・言語生活史
定期試験	15コマ終了後に筆記試験を実施する。	
テキスト	「国語学」 宇野義方編 学術図書出版社	
参考図書	「国語学要論」 福島邦道著 笠間書院	
教員の評価方法	学習への意欲・関心・態度(20%)、課題の提出状況と内容(20%)、定期試験(60%)等により総合的に評価する。	
準備学習等履修上の留意点	予習課題の提示・発表 授業後にテーマに即したレポートの作成(1時間)、提出	

社会学	1年 前期	講義2単位	担当教員名	井 坂 亨
	卒選必 幼選必 保選必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 社会学視点を応用し、考え・コミュニケーションする力を身に付ける。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> 社会学の基礎について理解する。 現代社会の様々な事象や問題等について、その背景や内容を多面的に考察する。 社会と人との関係、社会での人と人との関係、社会の仕組みなどについて考察する。 グループディスカッション等を通して、広い視野から社会を考える柔軟な思考力を身に付ける。 				
授業の概要 私たちの頭は案外固くて、普段物事を見る時、一面的な見方しかできないことが多い。私たちが社会生活を営む上で、「当たり前」と感じている社会的通念や制度は、本当に「当たり前」なのだろうか。現代社会で起きている事象や問題、課題等をグループディスカッションを柱とした講義を通して、様々な角度から多面的に考察し、多様で柔軟な視点や思考の形成をめざす。最新の時事問題やニュース等をテーマに項目を変更し講義（ゼミ）する場合もある。				

コマ(回)	項 目	内 容
1	イントロダクション。	社会学とは。社会学で学ぶこと。授業(ディスカッション)の進め方。
2	脱常識。	常識を覆す。一般常識のありすぎる学生。
3	コンビニ深夜営業規制、是か非か。	図式化して整理する。(結論は出さない)
4	携帯電話のアンテナ設置に税金投入？	多角的に考える。賛否を考える。(グループで結論を出す)
5	「若者言葉」を考える。	言葉と社会を考える①。賛否を考える。(結論は出さない)
6	定住外国人に教える日本語は？	言葉と社会を考える②。賛否を考える。(結論は出さない。キーワードを挙げる。)
7	悪夢。	意図せざる結果。多面的に考える。(グループで結論を出す)
8	貧困って何だ？	概念をとらえ直す。概念の再検討。(最後に個人で結論を出す)
9	家族って何？	「サザエさん」と「ちびまる子」ちゃん。恋愛と結婚はどう違うのか。
10	累進課税を考える。	税金のありかたを考える。解決策を考える。(グループで結論を出す)
11	環境問題を考える。	人間の主体的行為。解決策を考える。(グループで結論を出す)
12	どの記事を採用する？	メディアを考える。ランキング。(グループで結論を出す)
13	歴史的建造物を保存すべき？	環境保全と公共性。解決策を考える。(グループで結論を出す)
14	どれがよいまちづくり？	コミュニティを考える。ランキング。(グループで結論を出す)
15	大学の未来プランを作ろう。	アイデア発想とコミュニティ・プラン。解決策を考える。(グループで結論を出す)
定期試験	15コマ終了後に筆記試験を実施する	
テキスト	社会学トレーニング 宮内泰介著(三省堂)	
参考図書	新体感する社会学 金菱清著(新曜社) 図解社会学のことが面白いほどわかる本 浅野智彦著(中経出版)	
教員の 評価方法	授業態度・ディスカッション(30%)、レポート・提出物状況(20%)、定期試験(50%)の総合で評価	
準備学習等 履修上の留意点	テキスト、課題資料等を読んできておくこと。ニュースや新聞を見ること。(1時間)	

生物学	1年 前期	講義2単位	担当教員名	高橋和吉
	卒選必 幼選必 保選必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 自然(動植物)と接することの大切さを知り、子ども達に豊かな体験遊びをさせる力を身につける ② 目標 ・生物学の意義及び豊かな自然の大切さについて理解する ・環境による動植物の種類や生育状況等の違いを理解する ・自然に親しみ、草木遊び等の体験遊びを身につける				
授業の概要 人間・他の生物と環境との様々な係わり合いを、身近に見られる動植物の採集・観察等を通して理解が深まるようにしたい。生物学の受講者である本学の保育科の学生は、幼稚園の教諭または保育所の保育士を志して入学してきている。したがって、生物とその生態などを広く探究すると共に、幼稚園・保育所等の教育現場の自然環境や動植物、生命等にも触れることで子ども達の指導に生かすことができるよう、指導展開を図りたい。				

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	生物学について	・生物学とは・生物学の重要性と今日的課題・講義の展望
2	生態系について	・生態系の中での物質循環・生物の多様性と物質循環
3	生物観察の方法	・動植物の観察の仕方・ハコベなどの観察をしながら観察の視点をとらえる
4	大学校地の生き物①	・校地に見られる植物の植生調査と観察
5	荒雄公園の生き物①	・公園に見られる植物の植生調査と観察(継続観察)
6	水路の生き物①	・水路に見られる生き物調査と観察(継続観察)
7	草木遊び①	・草木遊びの意義と遊びの種類・シロツメクサなどで遊ぶものをつくる
8	押し葉標本作り①	・押し葉標本の意義と押し葉標本の作り方・押し葉標本をつくる
9	大学校地の生き物②	・校地に見られる生き物調査と観察
10	荒雄公園の生き物②	・公園に見られる植物の植生調査と観察(継続観察)
11	水路の生き物②	・水路に見られる生き物調査と観察(継続観察)
12	草木遊び②	・クズ、ギンギンなどの葉を利用しての音出し遊びをする
13	押し葉標本作り②	・押し葉標本でしおりを作る(ラミネートを使用)
14	移り変わる自然	・自然界での生態遷移・人為的場所での遷移・温暖化
15	学習のまとめ	・これまでに学習してきた内容の確認とまとめ
定期試験	15コマ終了後に筆記試験を実施する。	
テキスト	自作資料等を使用するためテキストは使用しない。	
参考図書	使用しない。	
教員の 評価方法	観察記録や作品等の提出物(10%)・学習への取り組み態度(20%)・テスト(70%)を総合的に判断	
準備学習等 履修上の留意点	準備物は忘れずに持ってくること 学習の準備・事前学習 (1時間)	

音楽	1年 前期	講義2単位	担当教員名	古 溝 徹
	卒必 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 楽典の基礎知識を学ぶ ② 目標 ・楽譜を読めるようにする。 ・コードの基礎的な知識を習得する。				
授業の概要 子供の発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育園、幼稚園において音楽は生活の一部として取り入れられている。保育士、幼稚園教諭を目指す者にとって、音楽の知識と技能の習得は不可欠である。ここでは「楽譜を読めるようにすることを目的に、楽典の基礎を学ぶとともに、コードについての知識を学び、ピアノの演奏に活かせるようにする。				

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	ガイダンス	これからの講義について
2	楽典の基礎	五線、ト音記号、ヘ音記号
3	楽典の基礎	シャープ、フラット、ナチュラル記号
4	楽典の基礎	音符と休符の種類Ⅰ
5	楽典の基礎	音符と休符の種類Ⅱ
6	楽典の基礎	省略記号、反復記号
7	楽典の基礎	拍子についてⅠ
8	楽典の基礎	拍子についてⅡ
9	楽典の基礎	楽語について
10	コードについて	コードの基礎Ⅰ
11	コードについて	コードの基礎Ⅱ
12	コードについて	コードの基礎Ⅲ
13	リズム実習	手、足、等によるリズム打ち
14	視唱	ごく簡単な楽譜を使つての視唱
15	打楽器実習	様々な打楽器の扱い方及び奏法
定期試験	15コマ終了後に試験を実施する。	
テキスト	「おとなのための楽典」 楽典ワーク	
参考図書	特になし	
教員の 評価方法	学習態度(20%)、実技試験(80%)の総合で判断	
準備学習等 履修上の留意点	次回の予習とその日の復習(1時間)	